

2023

6
月号

県民の森 だより



宮城県 県民の森管理事務所 TEL&FAX 022-255-8801
〒981-0121 宮城県宮城郡利府町神谷沢字菅野沢41
(指定管理者) 特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会

入園料 : 無料
利用時間 : 4月~10月 / 9時~16時30分
11月~3月 / 9時~16時

HPはちら!

雨が多い季節になりました。県民の森を散策する方も少なくなる季節です。ひっそりとした雨降りの森でも、雨の中でしか見られない森の表情があり、雨ならではの森の楽しみがあります。とはいっても雨が降る中、一人で森に入るには勇気がいります。外で開催されるほとんどの催しは雨で中止になりますが、県民の森で毎月開催される「森で遊ぼう」という催しは、雨ならではの森の良さも楽しんでいただきたい、という考え方のもと雨天でも決行します。6月は16日(金)に開催します。参加には申し込みが必要ですが、皆様のご参加をお待ちしております。

(所長:森山稔也)

■写真塾ぶらう写真展■

久しぶりに登場の写真塾ぶらう!
ぶらうワールドをご堪能ください。

Photo School Plow
Photo Exhibition

写真塾ぶらう
塾生写真展

宮城県県民の森 中央記念館1F
利府町神谷沢字菅野沢41

2023.6.2(Fri) ~ 2023.7.19(wed)

■イノシシ避けの柵を設置中です■



イノシシの被害が年々、広がってきています。毎日のように地面が掘り起こされ、芝生広場は凸凹で埋め戻す作業も大変です。冬期間の霜害も効果はありました。まだ、イノシシの数は減っていないようです。

中央記念館と青少年の森周辺にイノシシ避けの柵を設置作業中です。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

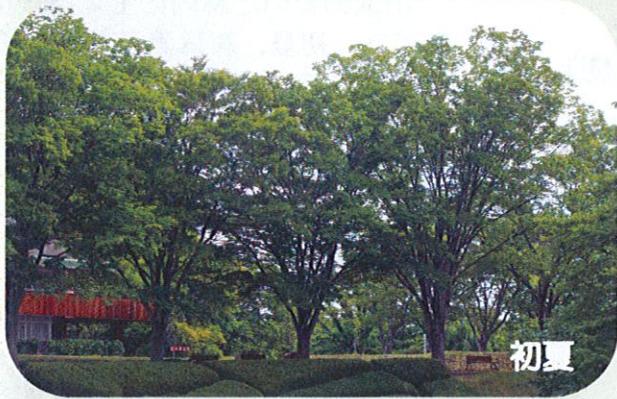


県民の森のお勧めスポット～No.20～

ケヤキ並木

6月の県民の森は中央記念館前のサツキが満開になります。そのサツキを見下ろすように見守っているのが、宮城県の県木でもありますケヤキの木です。

ケヤキは「けやけき樹」というのが言葉の由来で「美しく・ひときわ優れている・神々しい」という意味合いがあります。その昔は「ツキノキ」とも云われてきました。これは、神が宿る・神がつく樹という意味もあるそうです。宮城県には楓木(つきのき)という地名がありますが、ケヤキが沢山はえていたからこの地名が残っているのでしょうか。



ケヤキは平地に生え、大きくなると木肌が剥がれる特徴があります。又、太鼓や伝統工芸品の筆筒などに使われる木目が美しく、乾燥させると木材の狂いも少ないとから利用されます。ケヤキはニレ科の植物であり、中央記念館前のケヤキ並木のお隣にある芝生の広場には、豊かな大地に根差し豊穰の樹とも云

われるハルニレの樹やニレケヤキとも云われる秋に花が咲くアキニレの樹もあります。ニレ科の植物を比較

するのも如何で

しょうか。

(高橋(孝))

冬



紅葉

木肌の中で冬を越す虫たち



◆中央記念館◆コーナー vol.6

中央記念館の2階には熊太郎がいます。剥製は普段、良く見ることできない動物を知るための展示物。



熊太郎

近くの森には、動物たちが住んでいます！ 共存できる自然を守りましょう。



テン



タヌキ

そして、園内には時々本物のクマが現れます。毎年、暖かくなると冬眠から目覚めたクマがやってくることがあります。今年度は県民の森での目撃情報はまだありませんが、散策の際はお気をつけください。

目撃した時には、身の安全を確保した後、管理事務所までお知らせください。

☎ 022 (255) 8801

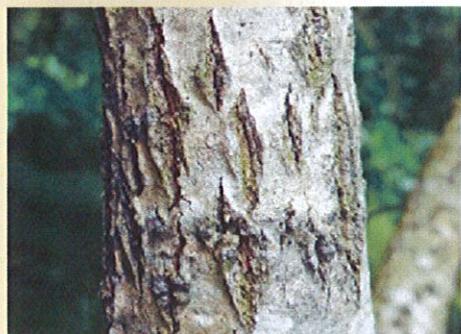


ギンドロ 銀泥
(ヤナギ科ヤマナラシ属)

葉の表と裏のコントラストが美しく爽やかな感じから街路樹や公園に植栽され、明治の中頃渡来した植物です。別名「ウラジロハコヤナギ」と呼ばれます。葉の裏に付いている綿毛は夏までには落下してしまいます。

植栽でしょうか、樹木はぐりりの森の日当たりの良い所で見られます。白い花のような葉を見ると素通りできなくなる不思議な木です。樹皮はヤマナラシの時に紹介したように算盤の玉のような菱形模様が浮かんできます。

12回に亘って紹介しました、菱形の樹皮シリーズはこれにて終了します。長い間お付き合い頂きました有難うございました。(森谷)



キジ・ヤマドリ

今月の

けんみんのもり写真館

スタッフが見つけたしぜんのひとコマ

ママコナ 飯子菜
(ハマウツボ科ママコナ属)



ヤブサメ 蔡駒
(スズメ目ヤブサメ属)

声はすれども姿は見せず、
実に奥ゆかしい夏鳥の
ヤブサメ。

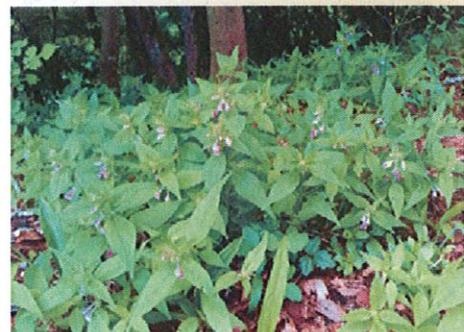
緑が濃くなる季節、
藪がかった林から「シ
シシシシ・・・・・♪♪」
と虫の様なかすかな
さえずりが聞こえます。

ウグイスよりも小さめで茶色っぽく、尾羽が短いのでちょっとコロンとした印象、白い眉斑が太めで長いのが特徴です（雌雄同色）。

暗めの林のささ藪などで昆虫や
クモなどを探し、子育てします。

ヤブサメ、名前の由来は、藪に
降る雨に喩えたそうです

(絵:秀・文:もち)



山地の乾いた林内に生える一年草です。初夏、蒼翠滴る県民の森を逍遙していると、そこかしこに群生し、人知れず愛愛しい稚い微笑みを送ってくれます。

名前の由来は「飯子菜」で花弁に並ぶ白い膨らみが

粒2つみづけた！

米粒に見える
こと、または
種子が米粒に似て
いることによります。

可憐な花ですが、実は半寄生植物で、宿主から栄養分を吸い取って生きるという逞しさも持ち合わせています。

花期5~7月

(片岡)